学校番号	１３０２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）基礎国語	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校・中学校の内容を復習し、高校国語への基礎を学ぶとともに、社会生活で必要な論理的思考力や判断力、コミュニケーション能力、語彙力を身につけていきます。また、文章問題だけでなく、映像教材や文法問題など様々な問題に取り組んでいきます。授業は 50 分ではなく、毎日 30 分で行います。板書を書き写すだけでなく、先生の話をよく聞いてメモを取り、分からないところや疑問に思ったところは、積極的に質問しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・基本的な漢字の読み書き、日常生活に必要な語彙力を身につける。
・「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の基礎的な力を身につける。
・古典の学習に必要な文法や、基礎知識を身につける。
【思考力・判断力・表現力等】
・社会生活に必要なコミュニケーション能力や言葉遣いを身につける。
・根拠をもとに、論理的に物事を考える能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・国語の知識が様々な場面で役に立つことを理解し、学んだことを他の教科でも活かすことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な漢字の読み書きができるようになる。また、四字熟語や諺の成り立ちや意味、古典の学習に必要な文法や基礎知識を理解することができる。加えて、「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の四領域において、基礎的な概念を理解することができる。	「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の基礎的な知識・技能について自分なりに考えるとともに、実生活と関連付けながら他の生徒とコミュニケーションをとることができる。	国語の知識が様々な場面で役に立つことを理解し、興味を持って粘り強く学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	作中人物の内面の変化を捉える。 ［教材］ 大造じいさんとガン 諺(ことわざ)プリント	a：常用漢字の読み書きを理解する。 b［ 読 ］：場面の変化や登場人物の心情描写に注意しながら、人物の内面の変化を捉えることができる。 c：積極的に作品を読み味わい、ほかの生徒と共有しようとする。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み
	作品を読んで抱いた思いを具体的に語る。 ［教材］ モンゴルの春夏秋冬 漢字プリント	a：文章の種類や基本的な論理展開の形式について理解することができる。 b［ 書 ］：筆者の主張に至るまでの論理展開について、自分の言葉で意見文を書くことができる。 c：積極的に作品を読み味わうとともに、ほかの生徒と共有し、新たな読み方・感じ方を知ろうとする。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み
二学期	情景描写と登場人物の内面描写のつながりを捉えることができる。 ［教材］ トロッコ 四字熟語プリント	a：情景描写の変化と比喩表現、登場人物の心情描写が関係していることを理解できる。 b［ 読 ］：場面の推移や情景描写、比喩表現に注意しながら、主人公の心理の移り変わりを捉えることができる。 c：登場人物の心情や行動を理解し、積極的に物語世界を味わおうとしている。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み
	古典の世界を読み味わう。 ［教材］ 竹取物語 四字熟語プリント	a：古典の世界に親しむために、必要な文法の決まり、歴史的な仮名遣い、歴史的な背景などについて理解することができる。 b［ 読 ］：古典の世界を感じながら文章を読むことができる。 c：積極的に古典の世界を理解しようとするとともに、自分の言葉で思ったことを伝えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み
	登場人物の行動をとらえ、作品の主題を捉える。 ［教材］ 握手 四字熟語プリント	a：ことわざの成り立ちや意味について、理解することができる。 b［ 読 ］：登場人物の行動・状態の変化を理解し、作品の主題を捉えることができる。 c：作品の展開だけでなく、主題をとらえるために、深く読み込もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み
三学期	作品の主題について考え、自分なりの言葉で述べる。 ［教材］ 高瀬舟 文法プリント	a：登場人物の内面や行動を理解し、作品の主題を捉えることができる。 b［ 話/聞 ］：作品の主題を踏まえ、自分の言葉で根拠をもって批評することができる。 c：作品の主題について自分なりに考え、自分なりの言葉で積極的に伝えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物・課題	プリント 振り返りシート 取り組み

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３５　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間